## 小矢部川の特徴

小矢部川は、南砺市南部の大門山(1572m)を水源として、県西部を流れる全長68kmの川です。 その長さの半分以上は平野部を流れるため、他の河川と比較すると、流れがゆるいという特徴をもっています。かつては、庄川の支流だった時期があり、庄川から運ばれてきた砂礫により、流路は石川県境

の山麓へ押しやられています。下流では大きく蛇行しており 二上山へ登ると、その蛇行の様子がよくわかります。県内の 河川は河川改修で人工的に作られた直線的な流路がほとんど であり、蛇行という自然の姿が見られる貴重な川であるとい えるでしょう。川原が広がるのは南砺市、小矢部市と高岡市 の旧福岡町までで、そこを過ぎると下流の特徴を示します。 なお、河口は伏木港として整備されているので自然の姿を見 ることはできません。

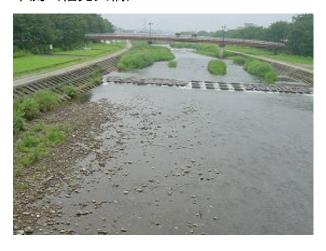


## 上流 (中河内)





中流 (福光大橋)





下流 (国東橋)





河口



